

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

## NIFRELにインタラクティブアート『FLOWER BREATH』が期間限定で新登場 来館者とアート作品の間に“つながり”が生まれます

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、2018年3月31日（土）から7月1日（日）までの期間限定で、アーティスト・松尾高弘氏によるインタラクティブアート「FLOWER BREATH（フラワーブレス）」を公開いたします。



FLOWER BREATH（イメージ）

「FLOWER BREATH」は、入館してすぐのプロローグの壁面に投影された光の花が、来場者が吹きかける息や風によって繊細に反応する映像インスタレーションです。作品の前に設置された特殊なセンサーが受けた風の強さによって、花のふるまいが変化します。息を吹きかけるという身近な行為で参加できるアート作品は、人と自然の関わり合いを象徴として、また人の息や風という行為によって変化し続ける映像は、自然の生命感や力を表現しています。

さらに、映し出される花の種類は季節に合わせて変化し、“生きているミュージアム”であるニフレルならではの季節性を発信します。

松尾氏は、ニフレルの巨大アート空間「WONDER MOMENTS（ワンダーモーメンツ）」を生み出したアーティストで、多彩なテクノロジーと美の表現で、「光」、「空間」、「人」、「インタラクション」が融合するエモーショナルな光のアートとデザインワークを手がけています。



松尾高弘氏

LUCENT代表。映像、照明、テクノロジー、インタラクションと、美的表現を融合させる光のインスタレーションを手がける。自ら制作する映像やライティング、プログラミングなど、多彩な表現と技術によりアートワークを一貫して構築。自然界の現象と法則性、イマジネーションによる繊細な光の表現と、直感的な参加性によるエモーショナルな作品群によって、世界各国のアート展、パブリックスペースのインスタレーションや、商空間のインタラクティブアート、ラグジュアリーブランドのためのアートワークを展開している。主な受賞に、DSA日本空間デザイン賞2016銀賞、Laval Virtual Awards 2008 先端技術賞（フランス）、文化庁メディア芸術祭2007アート部門 一般推薦作品選出など。

お問い合わせ：NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



## 《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名称の由来はコンセプト「感性にふれる」より



ワンダーモーメンツ

名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生 1,900円、小・中学生 1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

- ※ 公式ホームページ <http://www.nifrel.jp>
- ※ ツイッター [http://twitter.com/nifrel\\_official](http://twitter.com/nifrel_official)
- ※ Facebook <http://www.facebook.com/nifrel.jp>
- ※ インスタグラム [http://www.instagram.com/NIFREL\\_OFFICIAL](http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL)